

2021年3月期 第2四半期 決算説明資料

2020年11月11日

広島電鉄株式会社（証券コード：9033）

2021年3月期第2四半期 連結経営成績

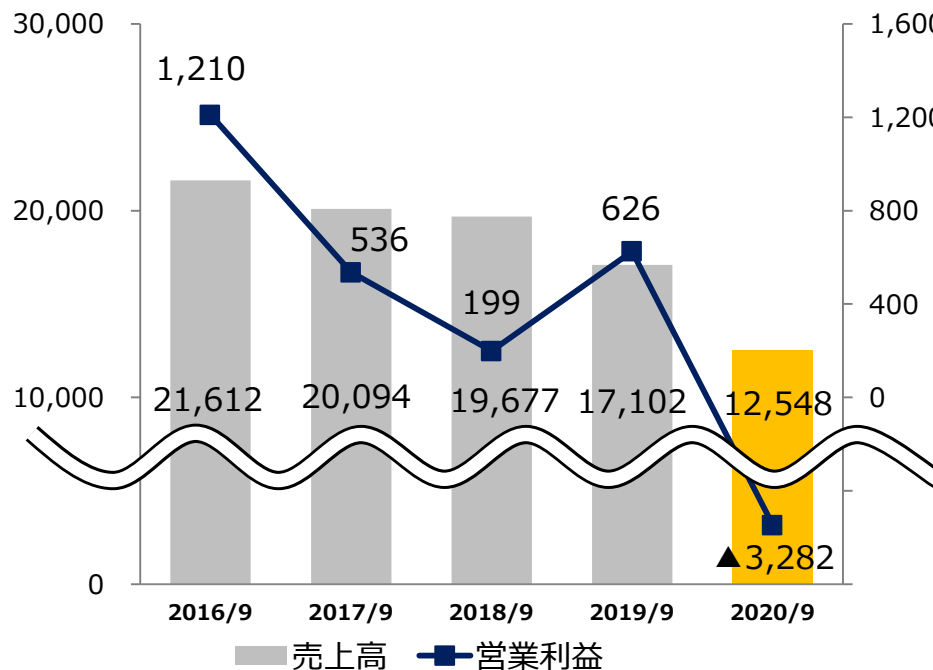
(百万円)

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	増減 (%)	主な増減要因
売上高	17,102	12,548	△4,554 (△26.6)	運輸業、流通業およびレジャー・サービス業において新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を大きく受け大幅な減収減益
営業利益	626	△3,282	△3,909 (-)	
経常利益	656	△3,302	△3,958 (-)	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	488	△3,157	△3,645 (-)	ホテル事業に係る減損損失を計上するも、新型コロナウイルス感染症に係る各種助成金の受領等により特別損益はわずかに改善
1株当たり 四半期純利益	16.09円	△104.07円	△120.16円	

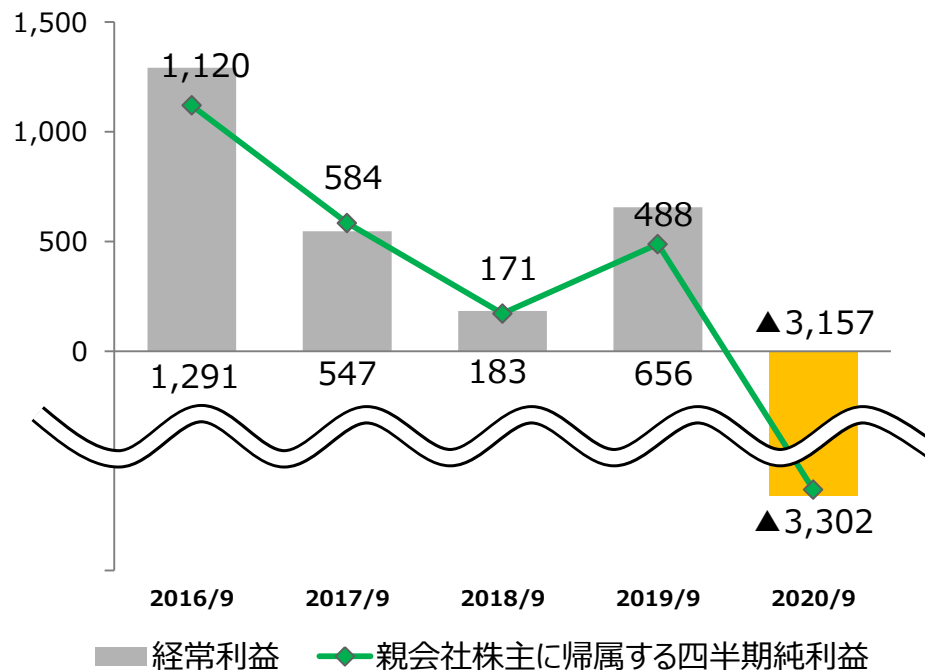
連結業績の推移 (第2四半期)

(百万円)

売上高・営業利益



経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益



連結貸借対照表(B/S)

(百万円)

	2020年3月期	2021年3月期 第2四半期	増減額	主な増減要因
流動資産	12,854	10,750	△2,103	現預金の減少、売掛金・運行補助金等の未収金の回収等が影響
固定資産	76,976	76,358	△618	宮島口周辺整備事業等の支出増も、減価償却や固定資産の減損処理が影響
資産合計	89,831	87,108	△2,722	
流動負債	25,580	23,246	△2,333	収用補償の前受金、納税猶予による未払費用等が増加するも短期借入金減少が影響
固定負債	21,975	24,895	+2,919	長期借入金の増加
負債合計	47,556	48,142	+585	
株主資本	17,645	14,298	△3,346	利益剰余金の減少
その他の包括利益累計額	23,484	23,663	+179	その他有価証券評価差額金の増加
非支配株主持分	1,145	1,005	△140	
純資産合計	42,275	38,966	△3,308	
負債純資産合計	89,831	87,108	△2,722	

連結キャッシュ・フロー(C/F)

(百万円)

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	増減額	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,330	2,691	△638	大幅減収となるも、収用補償の前受金や納税支払猶予等により資金流出を抑制
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,678	△2,003	△324	宮島口周辺整備事業等の設備投資支出の増加が影響
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,999	△465	+1,534	有利子負債返済額の減少が影響
現金及び現金同等物の増減額	△347	223	+571	
現金及び現金同等物の期首残高	4,316	4,013	△302	
現金及び現金同等物の期末残高	3,968	4,237	+268	

セグメント別経営成績①運輸業

(百万円)

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	11,456	7,052	△4,404 (△38.4)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中、運行間隔の見直しや運行本数の調整などを行いつつ、安心して公共交通を利用頂くため、定期的な施設や車両の清掃・消毒、車内の換気等の徹底を図り、公共交通機関としての役割を果たした
セグメント利益	△189	△3,895	△3,705 (-)	しかし、鉄軌道事業および自動車事業では在宅勤務や外出自粛等の影響が大きく、海上運送業および索道業では宮島への観光客が大幅に減少した影響を受け大幅な減収減益

セグメント別経営成績②流通業

(百万円)

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	1,419	596	△822 (△58.0)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により臨時休業していた宮島口の観光商業施設「etto」を再オープンしたが、宮島への観光客の減少が大きく響き、サービスエリアにおいても高速道路利用が大きく減少したことが影響して減収減益
セグメント利益	39	△ 88	△128 (-)	

セグメント別経営成績③不動産業

(百万円)

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	2,064	2,960	+896 (+43.4)	不動産賃貸業では新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による賃貸料の減額等により減収となるも、不動産販売業は「hitoto広島The Tower」の分譲を始めた結果増収増益
セグメント利益	697	847	+149 (+21.5)	

セグメント別経営成績④建設業

(百万円)

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	2,031	2,160	+129 (+6.4)	当社グループ向け工事のほか、砂防堰堤工事等の大型の公共工事の受注増加が影響し増収増益
セグメント利益	37	133	+96 (+256.0)	

セグメント別経営成績⑤レジャー・サービス業

(百万円)

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	1,006	424	△581 (△57.8)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、ホテル業の宿泊客の減少や宴会自粛の影響による大幅な減収等が影響し減収減益
セグメント利益	78	△ 285	△363 (-)	

2020年度の主な設備投資予定（連結）

電車

	導入数	金額
宮島口整備事業（新駅舎関連工事） ※2022年3月竣工予定		1,197百万円
5200形グリーンムーバー-APEX	2編成	880百万円
広島駅前大橋ルート基本実施設計 ※2025年度竣工予定		236百万円



5200形グリーンムーバー-APEX

自動車

	導入数	金額
自動車事業用車両購入	28両	740百万円
広島北営業所新築工事 ※2021年9月竣工予定		285百万円



広電宮島口駅新駅舎（イメージ）

2021年3月期 連結通期業績予想

(百万円)

	2020年 3月期実績	今回予想	増減 (%)	主な増減要因
売上高	32,910	25,530	△7,380 (△22.4)	運輸業、流通業およびレジャー・サービス業において新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を大きく受け大幅な減収見込
営業利益	△309	△7,120	△6,810 (-)	一部減便や施設改修の実施見合わせ等により費用削減を進めているものの、減収額が非常に大きく大幅な減益見込
経常利益	△290	△7,190	△6,899 (-)	
親会社株主に帰属する 当期純利益	629	△4,230	△4,859 (-)	

連結業績予想の前提条件

セグメント	収入 対前年比			備考
	第2四半期実績	下半期見込	年度見込	
運輸業	62%	78%	70%	下期以降観光需要等の増加を見込むも、完全には回復しないと見込
流通業	42%	78%	58%	宮島来島者数、高速道路利用者数が下期以降回復の見込み
不動産業	143%	109%	127%	「hitoto広島TheTower」引渡開始により増収見込
建設業	107%	95%	100%	ほぼ前年並みを見込
レジャー・サービス業	42%	65%	52%	ホテルニューヒロデン 2021年1月末営業終了予定

○2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）について

現時点で入手可能な情報を基に算出しておりますが、新型コロナウイルスは現在の状況を踏まえつつ、緊急事態宣言の再発出はされないことを前提として策定しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【問い合わせ先】

広島電鉄株式会社

経営管理本部 経理部 経理課

TEL 082-242-3542